

研修 評価

研修名	看護現場で活かせるフィジカルアセスメントー急性期編ー				
領 域	臨床実践能力(ニーズをとらえる能力)	会場	新潟県看護研修センター	受講料	会員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	習熟段階 新人・Ⅰ～Ⅲ 募集数(80 人)応募数(47 人)参加数(46 人)会員数(38 人)非会員数(8 人)				
日 時	令和 7 年 9 月 30 日 (火) 10:00 ～ 16:00				
ねらい (目標)	臨床で実践する機会が多いフィジカルアセスメントの意義・実技を学び、看護ケアに活かすことができる				
講 師	松井ルミ子 新潟県立中央病院 集中ケア認定看護師				
内容・方法	○講義内容 看護におけるフィジカルアセスメントとは 呼吸器・循環器系の構造と機能 問診、症状、兆候からのアセスメント 身体機能別のフィジカルアセスメント フィジカルアセスメントに共通する技術 基本的なフィジカルイグザミネーション ・講義、演習、実践報告				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度(できた、ほぼできた)80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標(知識技術)の習得度(できた、ほぼできた) ○参加者数 46 名 58% 【達成】・未達成 ○アンケート結果 (回収率 96%) ・理解度 98% 【達成】・未達成 ・自己課題の達成度 98% 【達成】・未達成 ○受講者の意見 ・臨床に役立つフィジカルアセスメントが多く、見逃してはいけない観察項目も勉強になった ・基本を学ぶことができた ・分かりやすい講義で受講できてよかった 明日からの看護に取り入れていきたい				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：適切だった。 ・アンケート結果：研修内容の整合性、満足度も100%と高かった。 ○総括 研修会開催の良かった点・改善点、今後の継続について 目標、内容に関してはアンケートより理解度も高く妥当であった。しかし、受講者が少なかった。急性期のフィジカルアセスメントを学ぶことは重要なため、興味を引くテーマの検討が必要。				
課 題	○興味を引くテーマの検討。				
担当者	教育委員				